

只今、ご紹介がありました数えで 100 歳！

仁杉でございます。

実は 66 代の土木学会会長を相勤めたことがございます。そんなこともあり、また土木学会の会員の中で私が一番年長なんだそうでございます。そんなことを含めまして、現土木学会の幹部の方々から、私に乾杯の音頭を取れと言うご命令でございますので、ここで乾杯の音頭を取らせていただきます。

私、昼からずっといろいろなお話を伺っておりますが、日本の土木の仕事は、ずっと昔から治水、治山、それに土地の開墾のような仕事をしておりましたが、その後、今から 150 年くらい前に、外国からいろいろな技術が入ってまいりまして、今までの我々の技術の上にそれが加わって、今では立派な仕事ができるようになりました。例えば、交通の問題を取り上げましても、道路にしても、鉄道にしても、あるいはいろいろな港、そういうようなものも立派にできるようになりましたし、また、大きなダムもできる、土地の造成もできる、というようなことになりまして、この 150 年の間に、日本の土木技術のために日本は随分発展をしたと思っております。これからも、皆様方が大いに頑張って、いろいろな土木の面で活躍されるということによって、おそらく日本も発展いたしますでしょうし、他の国々の方々にもいい影響が出るだろうと期待をしております。もう皆様からいろいろな話がございましたので、前置きはこのくらいにして、乾杯の音頭を取らせていただきます。

今日は世界の国々の土木技術者の方々にこの式典に参加していただき、式典を盛り上げていただいたことに感謝しております。

土木学会の 100 周年をお祝いしながら、そしてこれからも土木技術がますます発展をして人類のために発展ができるというようなふうになってほしいということを祈念しながら、そしてご列席の皆様、ご家族の方々の健康でおられることを頭におきながら杯を上げたいと思います。それではご唱和願います。乾杯。